
アフガニスタン出土の貴重な「仏頭」を展示 企画展「アフガニスタンを五感で知る」10/24より学内で開催

東北芸術工科大学（山形市上桜田/学長 中山ダイスケ）ではこの度、長く紛争が続くアフガニスタンを支援するための企画展「アフガニスタンを五感で知る」を10月24日（月）から11月18日（金）まで学内にて開催します。



アフガニスタン出土の仏頭

紛争が続くアフガニスタンでは、バーミヤンの石仏が爆破されるなど、さまざまな文化財が危険にさらされています。企画展の中心となる仏頭は、紛争以前に日本に流出したもので、アフガニスタン大使館の協力により、アフガニスタン国立博物館へ寄贈される予定でしたが、破壊の対象となる可能性が高いことから当面日本で保護することになっています。

昨年度、本仏頭のデッサン会、展覧会が東京で行われた際には本学学生の参加は叶いませんでしたが、東京の展示主催者である谷口陽子氏（筑波大学准教授）と本学・文化財保存修復学科准教授の佐々木淑美との親交から、本学での企画展開催が実現しました。

会期中は、本館1階ミニギャラリーでの仏頭の展示に加え、デッサン会や講演会、学生食堂での特別メニュー提供などを行います。描かれたデッサンは将来、仏頭と共にアフガニスタン国立博物館に寄贈される予定です。また、会期中は募金活動も行われ、アフガニスタンの食糧・学校支援に活用されます。本学での開催後、仏頭は鎌倉、京都へと渡り、同様の展示・デッサン会が行われる予定です。

本取り組みを是非、多くの方に知っていただきたく、会期中の取材をお願い申し上げます。

企画展「アフガニスタンを五感で知る」概要

■会場

東北芸術工科大学（山形県山形市上桜田 3-4-5）

■会期

2022年10月24日（月）～11月18日（金）

※企画ごとに開催日が異なります

1. 企画展示「未知を知る 美しきアフガニスタン」

内容：アフガニスタン出土の仏頭に加え、伝統的な茶器や絨毯、魔除け等といった中東の文化や暮らしが分かる生活用品、現地の女性たちが制作した手工芸品、貴重なアフガニスタン産出の鉱物が展示されます。また、アラビア語やトルコ語等といった中東の言語で書かれた新聞記事のスクラップや、アフガニスタンの自然と文化、厳しい環境においても明るく健気に生きる人々や子どもの様子が伝わる写真も展示されます。

期間：10月24日（月）～11月4日（金）

場所：本館1階ギャラリー「THE WALL」※一般の方にご来場いただけます。

2. デッサン会&デッサン展示

内容：仏頭のデッサン会を開催、完成したデッサン画を順次展示します。なお、デッサンは将来、アフガニスタン国立博物館へ寄贈する予定です。

日時：10月25日（火）、10月27日（木）、11月2日（水）、11月3日（木）
どの日も17：30～19：00

場所：本館1階 南エントランス ※教職員、学生のみ参加可。

3. 講演会「アフガニスタン文化遺産の現状」

内容：谷口陽子氏（筑波大学准教授・仏頭保護責任者）によるオンライン講演会を開催します。谷口氏は、アフガニスタンの文化遺産に関わる国際協力事業に長い間尽力されています。現場での経験と保存科学者としての視点から、ターリバーン侵攻から現在に至るまでの文化遺産保護の現状と課題、そして今回展示する仏頭の方法や制作年代、ストゥッコという仏頭の制作技法の特徴などについて講演いただきます。

日時：11月3日（木）10：20～11：40

場所：ZOOMによるオンライン開催

※一般の方に参加いただけます。下記URLより申し込みください。

<https://forms.gle/zwW7QBIAj15FgUj88>

4. 食堂ランチ

内容：アフガニスタンなどの中東料理を展示期間限定で提供します。

期間：10月25日～11月3日の（火）（水）（木）、全6回

場所：学生食堂 ※教職員、学生のみ利用可。

5. パネル展

内容：科学分析や調査成果のパネル、鉱物資料などを展示します。

期間：10月24日（月）～11月18日（金）

場所：文化財保存修復研究センター1階 / X線透過撮影室 ※教職員、学生のみ利用可。

■お問合せ

佐々木淑美（本学 文化財保存修復学科准教授） Email：afghanistan.tuad@gmail.com